

⑦ユネスコ無形文化遺産登録「山あげ祭」を開催する街でのみちづくり

受賞機関 栃木県 烏山土木事務所

キーワード 無電柱化、景観形成、バリアフリー化、山あげ祭、第二次緊急輸送道路

全建賞審査委員会の評価ポイント

ユネスコ無形文化遺産「山あげ祭」の野外歌舞伎舞踊が披露される路線では、高さ10m以上の手作りの山を含む仮設舞台の設置に支障が生じないよう大型案内標識板を回転可能な構造とするなど、地域の祭りの開催にも配慮した形で無電柱化及びバリアフリー化を一体的に実施した点が評価された。

1. はじめに

本事業は、那須烏山市中心市街地の主要路線が交差する交通の要衝において、無電柱化、交差点改良及び歩道のバリアフリー化を実施したものである。無電柱化による整備効果に加え、工区内及びその周辺で開催されるユネスコ無形文化遺産に登録された「山あげ祭」にも配慮した道路空間の創出を図った。

2. 事業の概要

主要路線が交差する中心市街地を対象として、一般国道294号の「旭交差点工区」及び一般県道烏山停車場線の「中央工区」の2つの工区に分けて実施した。両工区はいずれも第二次緊急輸送道路であるが、旭交差点では右折レーンの未整備により渋滞が発生していたほか、中央工区では既存の電柱が歩行者の通行に支障を来していた。

山あげ祭の開催時には、奥行き100mに及ぶ舞台装置が道路上に設置され、野外歌舞伎が演じられる。その見どころである「大山」は高さ10mを超え、架空線が舞台装置の設置や披露の妨げとなっていた。また、祭り期間中は複数箇所では野外演舞を披露するため、舞台の移動・組立に際し、一部の大型標識板が支障となるなど、運営上の課題も顕在化していた。

これらの課題に対し、交通の円滑化、歩行者の安全確保及び良好な都市空間の形成を図ることを目的として、交差点改良、無電柱化及びバリアフリー化を実施した。



山あげ祭（歌舞伎舞踊）

3. 事業の成果

交差点の改良により、車両の円滑で安全な通行が確保された。また、無電柱化及びバリアフリー化により、安全・安心な歩行空間が創出された。これらの取組により、第二次緊急輸送道路としての機能も強化された。

また、電柱及び架空線の撤去、歩道の美装化により、「山あげ祭」を開催する中心市街地にふさわしい景観が形成された。さらに、烏山山あげ保存会と協議し、祭事に配慮して大型案内標識板を回転可能な構造とすることで、観光振興にも寄与した。



回転可能構造の大型案内標識板



中央工区全景

4. おわりに

無電柱化に加え、回転可能な標識板を採用したことで、上空に障害物のない開放的な道路空間が創出された。これにより、交通の円滑化だけでなく、山あげ祭を今後も安全に開催できる環境が整い、地域の活性化やにぎわいの創出につながることが期待される。

賛助会員 (株)関谷建設、(株)ピーシーレールウェイコンサルタント